

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-149631

(P2001-149631A)

(43)公開日 平成13年6月5日(2001.6.5)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
A 6 3 F 7/02	3 5 2	A 6 3 F 7/02	3 5 2 F 2 C 0 8 8
G 0 7 D 9/00	4 0 3	G 0 7 D 9/00	4 0 3 F 3 E 0 4 0

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平11-338070

(22)出願日 平成11年11月29日(1999. 11. 29)

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72)発明者 立附 三郎

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

(72)発明者 北沢 由紀夫

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

(74)代理人 100062225

弁理士 秋元 輝雄

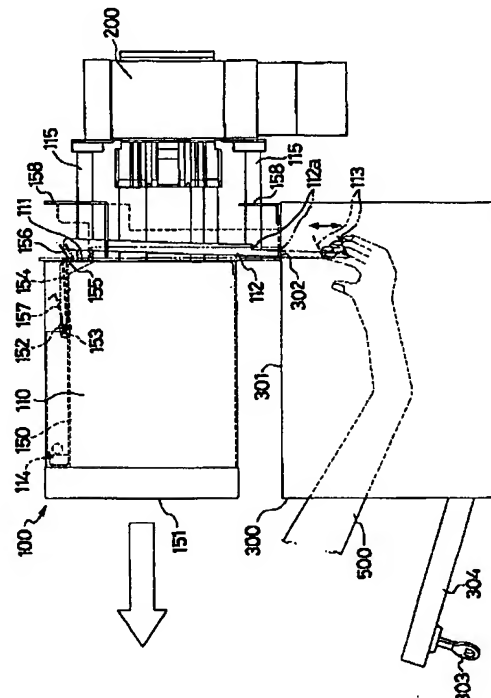
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 台間紙幣受入搬送装置

(57)【要約】

【課題】 紙幣を受け取って背面側に搬送する台間紙幣受入搬送装置の主体部材が必要に応じて固定枠部材から簡単に引き抜けるようにしたものにおいて、主体部材を誤って落とすことがないようにする。

【解決手段】 固定枠部材110の内側に設けた落下防止手段114と、主体部材150の落下防止手段157とが、主体部材150が固定枠部材110から引き抜かれる寸前で係合し、落下防止手段157の先端側を上方から下方に指で押すと、落下防止手段157の先端部が図面下側に傾斜して落下防止手段114・157の係合が解除するように設けた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 遊技媒体貸出機の上に設置されて遊技機に並設される台間紙幣受入搬送装置において、遊技媒体貸出機の上に設置される固定枠部材と、この固定枠部材に挿脱可能に設置され、前面より受け入れる紙幣を背面に設置される主搬送装置に受け渡す主体部材とからなり、主体部材が完全に引き抜かれる前に互いに係合して主体部材の落下を防止する落下防止手段が固定枠部材と主体部材とに設けられたことを特徴とする台間紙幣受入搬送装置。

【請求項2】 落下防止手段同士の係合を指圧で解除可能に少なくとも一方の落下防止手段がばね部材を利用して形成されたことを特徴とする請求項1記載の台間紙幣受入搬送装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、遊技場ホールにおいてパチンコ機やスロットマシンなどの遊技機に並設される遊技媒体貸出機の上に設置され、遊技に使用するパチンコ玉やメダルなどの遊技媒体を遊技客が借りる際に支払う紙幣の投入口を前面部に有し、その投入口に入れた紙幣を背面に設置される主搬送装置まで搬送する台間紙幣受入搬送装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】台間紙幣受入搬送装置100は、例えば図3に示したように横並びに設置されるパチンコ機やスロットマシンなどの遊技機400の間に設置される。

【0003】図3に示した台間紙幣受入搬送装置100は、図4に示したように遊技媒体貸出機300の上に取り付けられる固定枠部材110と、この固定枠部材110に挿脱可能に設けられた主体部材150とからなり、主体部材150は遊技客が遊技に使用するパチンコ玉やメダルなどの遊技媒体を借りる際に支払う紙幣を入れるための紙幣投入口151を前面部に有すると共に、内部には紙幣投入口151に投入された紙幣900の真贋をチェックする紙幣チェック手段、背面側に搬送する搬送手段など（何れも図示せず）を備えて構成されている。

【0004】紙幣投入口151に投入される紙幣900の中には使い古されたものもあり、主体部材150の紙幣搬送手段や、背面部に設置される主搬送装置200などで紙幣詰まりが発生することがあるので、詰まった紙幣が簡単に取り除けるように主体部材150は固定枠部材110から引き抜ける構造になっている。

【0005】また、台間紙幣受入搬送装置100は、主体部材150が固定枠部材110から引き抜かれると、その背面部に設置されている主搬送装置200が丸見えとなり、そこを搬送されている紙幣を抜き取ることも可能になるので、主搬送装置200により遊技島450の端部に設けられた金庫201に向けて搬送されている紙

幣が、素行の悪い遊技客や下級店員に盗み取られることがないように、例えば図4に示したような引抜防止機構が設けられている。

【0006】すなわち、図4に示した構成の台間紙幣受入搬送装置100においては、固定枠部材110の垂直板部材からなる引抜防止手段111と、主体部材150の上部にビス152とコイルばね153とで図面向下に付勢して取り付けられ、先端部が背面側に突出した板ばねからなる引抜防止手段154の下向きに屈曲した係合部分155とが、主体部材150が固定枠部材110の前面部から奥の設置部に押し込まれたときに係合して抜き取ることができなくすると共に、台間紙幣受入搬送装置100が設置されている上側の幕板451を開錠して図4のように開き、腕500を差し込み、係合部分155の下端部から上方に傾斜した操作部156に指501を掛けて図面上向きの力を加えると、コイルばね153が変形して操作部156の側が持ち上げられ、固定枠部材110の引抜防止手段111と、主体部材150側の引抜防止手段154の係合部分155との係合が解除され、主体部材150の前方への引き抜きが可能になっている。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記図4に示した構成の台間紙幣受入搬送装置においては、引抜防止手段同士の係合を解除すると、主体部材をそのまま引き抜くことができたため、投入紙幣の真贋をチェックしたり、背面側の主搬送装置に向けて搬送する手段を備えて重くなった主体部材を足の上に落として怪我をしたり、装置を壊すことがあったので、主体部材を落とすことができない構成にする必要があり、これが解決すべき課題であった。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は上記従来技術の課題を解決するため、遊技媒体貸出機の上に設置されて遊技機に並設される台間紙幣受入搬送装置において、遊技媒体貸出機の上に設置される固定枠部材と、この固定枠部材に挿脱可能に設置され、前面より受け入れる紙幣を背面に設置される主搬送装置に受け渡す主体部材とからなり、主体部材が完全に引き抜かれる前に互いに係合して主体部材の落下を防止する落下防止手段を固定枠部材と主体部材とに設けるようにした第1の構成の台間紙幣受入搬送装置と、

【0009】前記第1の構成の台間紙幣受入搬送装置1において、落下防止手段同士の係合を指圧で解除可能に少なくとも一方の落下防止手段をばね部材を利用して形成するようにした第2の構成の台間紙幣受入搬送装置と、を提供するものである。

## 【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を図面に基いて説明する。図1と図2に示した本発明の台間

紙幣受入搬送装置100は、前記図4に示した台間紙幣受入搬送装置100が備えていなかった係合解除手段112と落下防止手段114・157とを備えている。

【0011】棒状の係合解除手段112は、例えば図面右側が開口した断面コ字状に板部材から屈曲形成され、固定枠部材110に挿入設置された主体部材150の引抜防止手段154の操作部156の下側に上端部が位置し、下端部は遊技媒体貸出機300の天板301に開設した穴302を抜けて、施錠可能な遊技媒体貸出機300の内側に位置し、屈曲形成した下端部の操作部113を握るなどして上方に押し上げると、上端部が引抜防止手段154の操作部156の下側に当たり、さらに押し上げてコイルばね153を変形させると、固定枠部材110の引抜防止手段111と主体部材150の引抜防止手段154（操作部156）との係合が解除されるように設けられている。

【0012】すなわち、遊技媒体貸出機300は、店長またはそれに代わる上級店員が所持している鍵303によって前扉304の施錠／開錠が可能に設けられており、前面が開放される遊技媒体貸出機300の内部に係合解除手段112の下端部の操作部113が位置し、その部分を握るなどして係合解除手段112を上方に押し上げて、固定枠部材110の引抜防止手段111と主体部材150の引抜防止手段154（操作部156）との係合が解除できるように構成されている。

【0013】また、係合解除手段112は、遊技媒体貸出機300の内部に埋没することがないように上側が天板301の穴302より太く形成されている。すなわち、係合解除手段112は段部112aより上側が穴302より太く、段部112aより下側が穴302より細く、段部112aが穴302の周りの天板301に係合して落下しないようになっている。

【0014】したがって、主体部材150を固定枠部材110の所定の位置まで押し込んで、主体部材150の引抜防止手段154と固定枠部材110の引抜防止手段111とを係合させ、遊技媒体貸出機300の前扉304を施錠することで、係合解除手段112の操作ができなくなり、主体部材150を引き抜くことができなくなるので、主搬送装置200によって金庫201に搬送されている紙幣が素行の悪い遊技客や下級店員によって盗み取られることがない。

【0015】一方、開錠して遊技媒体貸出機300の前扉304を開けると、腕500をその中に入れて係合解除手段112を押し上げ、主体部材150の引抜防止手段154と固定枠部材110の引抜防止手段111との係合を解除することが可能であり、その状態で主体部材150を固定枠部材110から引き抜くことができるので、主搬送装置200で金庫201に搬送している紙幣が詰まっても、容易にその詰まった紙幣を取り除くことができる。

【0016】落下防止手段157は、フック状に形成されたものであり、主体部材150に引抜防止手段154を図面下向きに付勢して固定しているビス152とコイルばね153とで、同じ主体部材150に図面上向きに付勢して取り付けられている。この落下防止手段157は、主体部材150が固定枠部材110から引き抜かれる寸前で、固定枠部材110の前側の内側に突出して設けた落下防止手段114に係合し、そのまま前方への引き抜きを防止するものであり、先端側を上方から下方に指で押すとコイルばね153が変形して先端部が図面下方向に傾斜し、落下防止手段114との係合が解除されるものである。

【0017】したがって、投入された紙幣900の真贋をチェックしたり、背面側の主搬送装置200に向けて搬送する手段を備えているために重くなっている主体部材150を、固定枠部材110から不用意に引き抜いて落とすと云ったことがない。

【0018】また、この台間紙幣受入搬送装置100においては、支持部材158により固定枠部材110側が支持された上下2本の連結部材115を介して、固定枠部材110が主搬送装置200と連結され、主体部材150が重くなっても全体が前傾しないように構成されている。

【0019】なお、本発明は上記実施形態に限定されるものではないので、特許請求の範囲に記載の趣旨から逸脱しない範囲で各種の変形実施が可能である。

【0020】例えば、引抜防止手段154・落下防止手段157は、板ばねを利用して形成することもできる。そして、引抜防止手段154・落下防止手段157を板ばね部材で形成するときには、引抜防止手段152と落下防止手段157とを一つの板部材から、すなわち引抜防止手段152を例えば大きく形成し、そこにスリットを入れて中央部分を上に引き上げ、この引き上げた部分で落下防止手段157を形成するようにしてもよい。

【0021】また、固定枠部材110の落下防止手段114と主体部材150の落下防止手段157とは、それぞれの部材の側板部分や底板部分などに係合可能に設けることも可能である。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、台間紙幣受入搬送装置の主体部材が固定枠部材から引き抜かれる寸前に引き抜きができなくなるので、主体部材が重くても足の上に落として怪我をしたり、装置を壊すと云ったことがなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態を示す説明図であり、主体部材が所定位置に収納設置されている状態を示す図である。

【図2】本発明の一実施形態を示す説明図であり、主体部材が手前に引き出されている状態を示す図である。

【図3】一実施形態の利用形態を示す説明図である。

【図4】従来技術を示す説明図である。

【符号の説明】

100 台間紙幣受入搬送装置

110 固定枠部材

111 引抜防止手段

112 係合解除手段

113 操作部

114 落下防止手段

115 連結部材

150 主体部材

151 紙幣投入口

152 ビス

153 コイルばね

154 引抜防止手段

155 係合部分

\* 156 操作部

157 落下防止手段

158 支持部材

200 主搬送装置

201 金庫

300 遊技媒体貸出機

301 天板

302 穴

303 鍵

10 304 前扉

400 遊技機

450 遊技島

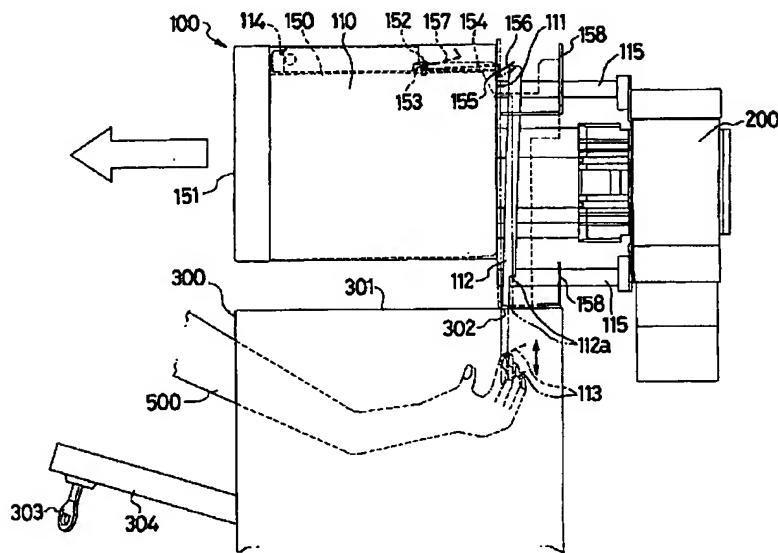
451 幕板

500 腕

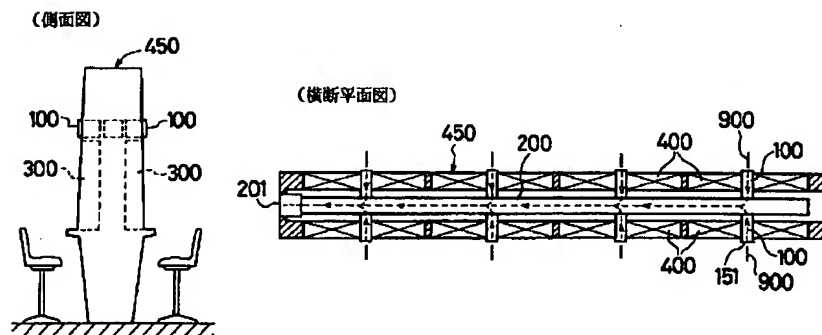
501 指

\* 900 紙幣

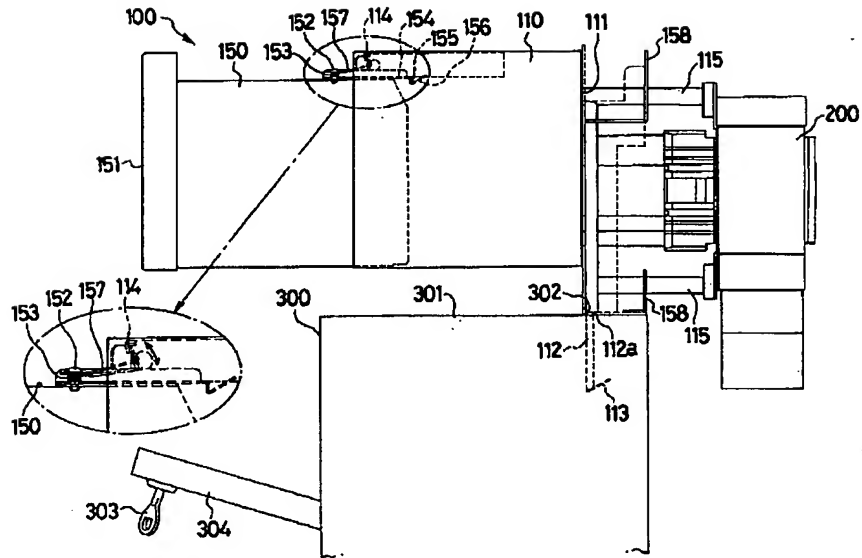
【図1】



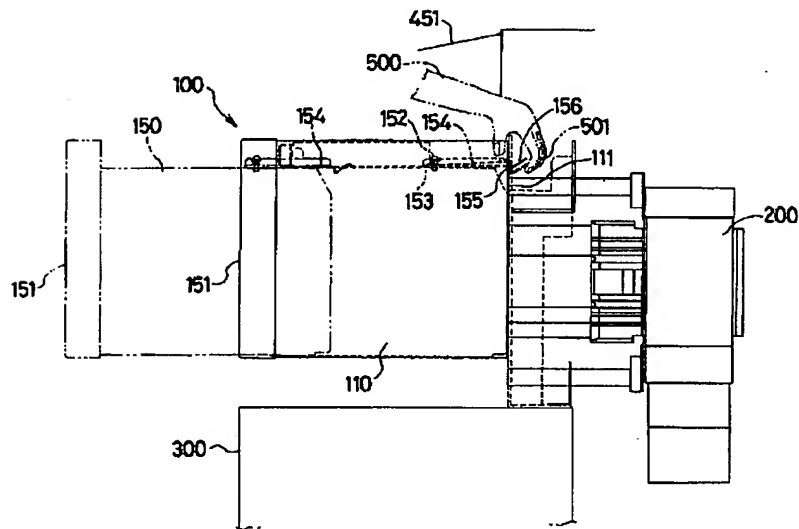
【図3】



【図2】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 吉川 一久  
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三  
洋電機株式会社内  
(72)発明者 萬年 浩昭  
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三  
洋電機株式会社内

(72)発明者 小川 篤治  
大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三  
洋電機株式会社内  
Fターム(参考) 2C088 BA88 BC79  
3E040 AA01 BA20 CA07 DA05 FG01  
FL04

BEST AVAILABLE COPY